

〈特別企画〉 日本から死刑を廃止するために

Forum for the Abolition of Death Penalty in Japan

専修大学今村法律研究室

緊急フォーラム

本稿は、2014年10月19日（日）に、専修大学で開催されたフォーラムの一部を活字にしたものである。フォーラムのテーマは、「無辜の民が犯人に仕立て上げられ、そして、吊される。死刑制度に合理性はあるのか？ 改めて、死刑制度について考えてみる必要がある。」ということである。その内容を活字にすることにより、改めて、私たちの想いを届けたいと願うものである。本講演に際して、KELNER Richard (EEAS-TOKYO) 氏には、講演者のDAVID Milliot 氏を紹介していただき、また、講演の映像（DVD）は、作家の白砂巖氏から提供していただいた。記して各位に厚く感謝を表したい。

目 次

なぜ、死刑制度は廃止されなければならないのか？(基調報告)……	菊田 幸一
死刑か、仮釈放のない終身刑か ……………	小川原優之
死刑を止めた韓国の今……………	朴 秉 植
死刑制度に対する EU の視座 ……………	ダヴィド・ミリオ

なぜ、死刑制度は廃止されなければならないのか？

(基調報告)

“The Death Penalty is no longer any reason for existence”

菊 田 幸 一（弁護士，明治大学名誉教授）

1. 日本国憲法と死刑存置論について

私は、30代の時から死刑問題に関心を持って50年間以上研究してきました。死刑問題は、必ずしも哲学者から始まるものではなく、その専門とは関係なく、あらゆる